

令和2年3月29日
広島県新型コロナウイルス等対策専門家委員会
感染症専門員会議見解

3月2日からの学校の一斉臨時休業や、3月7日からの県内のイベント自粛の効果もあり、広島県内の感染者数は6人とどまっています（陽性率0.7%（6/866））。

しかし、帰国者からの感染の報告例やリンクの追えない事例が複数発生してきており、今後の感染拡大の可能性が懸念されています。

まずは、今後1～2週間の行動が大きく影響しますので、次の内容を御理解いただき、県内の感染を少しでも減らすための行動につなげて頂きたいと考えています。

○ イベント開催について

人が集まるイベント等については、原則、不要・不急なものは延期又は中止すべきであると考えます。

ただし、3つの条件（①換気の悪い密閉空間、②人が密集している、③近距離での会話や発生が行われる）が同時に重なる場を徹底的に回避する対策を講じたうえで、感染拡大のリスクの低い活動については開催することができるものと考えます。

○ 日常生活での注意事項

体調の悪い人、発熱、咳などの症状がある人は他者に感染を広げないように外出を控えましょう。3つの条件が同時に重なる場で多くの人数と接触した人、重症化しやすい基礎疾患のある人は行動を自制しましょう。

現時点では、感染を完全に防ぐ手立てがないため、手指衛生（こまめな手洗い）・咳エチケットの実施や室内の換気を行い健康的な生活（十分な睡眠、バランスの良い食事）を心がけることが大切です。

また、時差出勤やテレワーク等を行うことなるべく人混みを避けてください。

今後、一か月を目途に本県の感染者数の動向等を踏まえ、適宜見直しを行うものとします。